

対詠 ごきげんいかが？

K N O  
河村 郁子  
布宮 慈子  
小野澤繁雄

猛暑日が増えてゐるなりこの夏は酷暑、炎暑に激暑もありて	8月22日	N
近隣の会話も絶ゆる猛暑にて収集場所のゴミが消息	8月23日	K
蟬声のアーチのごとに送られてアーチにもどる夏の歩みに	8月25日	O
暑き日が続けば雨を乞ひ願ひ雨の続けば蟬声を恋ふ	8月29日	N
灼熱の舗装道路を歩みつつ雪掻きの時を思ふしかなき	8月31日	K
台風風の風に吹かれて歩むかな桜落葉のたまり踏みつつ	9月4日	O
台風地震も起こり西ひがし満身創痍の日本列島	9月9日	N
同窓祭のキャンパスに心残ししも平成最後の名月に遇ふ	9月25日	K
もうすぐに月がまるいねということの中の子と話し少しして満つ	9月26日	O
野分きました台風といふ大風の去りて「在庫一掃内閣」生まる	10月3日	N
十月の七日は真夏日 わが父の五十回忌の法会営む	10月9日	K
うろこ雲みるうれしさよみるところうろこつながりにうごいているよ	10月10日	O
あの声は白鳥ならむあかつきに鳴き交はしつつ南へ南へ	10月14日	N
通学の都電より見し白鳥は皇居の堀に季知らずなり	10月15日	K
秋映 <small>あきばえ</small> も秋陽 <small>しゅうやう</small> も林檎 <small>りんご</small> ともにバラで一二八円はレジのつごうか	10月18日	O

対詠 ごきげんいかが？

小野澤繁雄  
布宮 慈子  
河村 郁子

連休の前にと大和路長谷寺へ 満開の牡丹に雨降り止まず 5月2日 K

おおよそは花の終りの牡丹園に人に聞いて花ジャーマンアイリス 5月6日 O

花びらは漂ひてをり友人の散骨なせり酒田の海へ 5月13日 N

現世に父亡きままに五十年総本山の長谷寺に詣づ 5月17日 K

親越して若竹伸ぶと長源寺月のさとしは報恩を読む 5月20日 O

昼の月おほきく空に貼りつきて見守るごとし散歩の時間 5月26日 N

梅雨近き雲居の月の十三夜あはき朱の色にじませてをり 5月30日 K

通りすがりは動物病院町内会班長さんの札下りさがおるかも 6月4日 O

梅雨入りといふも当地は雨なくて過ごしやすき季節とおもふ 6月12日 N

梅雨に入り高温夏日と梅雨寒と交互に襲はれ老いの身せはし 6月16日 K

樹の上にこわれゆく花泰山木あるとき触れて硬き花びら 6月25日 O

公園の茶店に今年はじめての抹茶あづきのかき氷食ぶ 7月1日 N

気温室温そのつど高低くりかへし体温調節失調症なり 7月5日 K

二つでは多いだろうか願ひする鷲大神社両手合わせて 7月10日 O

三津屋には幟立ちをり幻の「天保そば」を今年は食みぬ 7月12日 N

北限の蔵王のゆずの香に涼む笹かまぼこはクール便なり 7月18日 K

花の名はときには長く短いは漢字名多く今は木むくげだけか 7月19日 O

雨降らず炎天つづくこの日ごろブルーベリーは濃紺の実を付く 7月25日 N

未曾有なる高温続き持病持つ身に熱中症軽度なれども 7月28日 K

さんさ路の角の地蔵さんさし覗く今日の供花は紫陽花一つ 7月30日 O

パールのわれの車は今日つひに走行距離を七万キロとす 8月3日 N

となり家の百日紅の咲きさかりわが庭の一隅白き花占む 8月15日 K

片あしが痛んでやまぬという人の話を聞きぬ昼の園にて 8月16日 O

対詠 ごきげんいかが？

小野澤繁雄  
 布宮 慈子  
 河村 郁子

吃逆<sup>しやつくり</sup>がとまらぬ人<sup>ひと</sup>に乗りあわせ車内はしばししずかになりぬ

1月24日 O

昼<sup>ひる</sup>ごはんを母と食べれば静かにて低く聞こえる吃逆<sup>しやつくり</sup>の音

1月28日 N

しやくりつつ急ぎ止めむと念ずれどおのれ脅かす術なきあはれ

2月2日 K

図書館「本が泣いています」なかに校閲をしている書き込みもある

2月7日 O

「100万人の年賀状展」眺めたり杜の都の文学館に

2月11日 N

エクセルに発送名簿を打ち終へて拙著の受け取り願ひてをりぬ

2月15日 K

なんとなく口さびしさに置く豆に今はいかり豆皮ごとを食む

2月21日 O

ガルバソのカレーといふはやさしくてひよこ豆の顔つくづく眺む

2月26日 N

あざやかな黄の花咲かせ地の中に育ちしピーナツと一粒を噛む

3月1日 K

沼のほとりの花というとも桜まで桜からとすそこが区分で

3月9日 O

札幌ゆ来し従姉妹らと共に食む前菜<sup>へ</sup>の上の桜の花を

3月17日 N

バス停の河津櫻にはやばやと若葉茂りて春の雪受く

3月21日 K

棒杭に並びながらも丈足らぬみつは小鴨春の川なか

3月22日 O

白鳥は隊列なして北へ去り羽州の田んぼ春の陽のなか

3月27日 N

厳冬を超えて一気に盛る花けんめいに咲きこんもりと咲く

3月31日 K

あきらめて犬ひく人にあきらめてひかれゆく犬葉桜下を

4月2日 O

山形は梅満開にちらほらと桜咲きつつ沈丁花かをる

4月7日 N

見上げるし薬<sup>しよ</sup>の桜に思ひ立ち馳<sup>しよ</sup>せ参<sup>まゐ</sup>りたる山桜<sup>まゐ</sup>笑<sup>あ</sup>む

4月8日 K

境内にイチイ二木が被る花枝垂れ桜が花をこぼして

4月11日 O

強烈なシュートを放ちヨルダンのなでしこジャパン中国に勝つ

4月18日 N

スタメンの6番大谷翔平の安打あれどもチームは敗戦

4月21日 K

貼り札は立春大吉歩み出て二箇所でもみたりいずれも店に

4月23日 O

連休が始まつてゐて「ペンタゴン・ペーパーズ」観<sup>たま</sup>つ記者の魂<sup>ましひ</sup>

4月29日 N

対詠 ごきげんいかが？

小野澤繁雄  
布宮 慈子  
河村 郁子

この日ごろ朝の散歩に出でて会ふ双葉公園の大きダリアよ

11月16日 N

牧野庭園の白山茶花のあはひには乙女椿の密やかに咲く

11月17日 K

笑い声には年齢がある隅田川テラス歩いて声降るところ

11月22日 O

少しづつ覆はれてゆく雪の野に白鳥のこゑ降りくるごとし

11月25日 N

厳しかりし長旅終へて白鳥は羽をたためり 吾にし然り

11月30日 K

あるときはほとりに下りてみる水面下沼公園まだ生きている

12月2日 O

東京は曇り空にてスーパーの入口にある焼き芋を買ふ

12月8日 N

駅前石焼き芋の香が誘ふ安寧芋の一本を買ふ

12月10日 K

さつま芋掘りおる畑にいきあいぬ若きら云うは体験になる

12月11日 O

朝焼けの富士山を見つ東京ゆ帰り来たれば山形の雪

12月12日 N

赤富士を見しとふ友よそは吉兆 孫の生誕祝ひなるらむ

12月14日 K

久々に富士みるこの日気付いては六十九歳になりたるらしも

12月17日 O

月山も葉山もすでに白くしてパズルのやうな今日の緋月

12月21日 N

冬至過ぐる夜空にさやけき半月よ姉の黄泉路を導き給へ

12月26日 K

あつちでもいいんだけどもこっちでいい人がおしえてくれる近道

12月29日 O

2018年

雪道をゆつくり抜けて融雪の歩道を行けば「よなき石」あり

1月4日 N

散策に近道なして笑ひしも老いゆく足に近道嬉し

1月5日 K

壇蜜がしずかに選りし言のよさテレビの人の間に一人

1月8日 O

くり返し思ふことあり年賀状に書かれし言葉そのひとことを

1月14日 N

代筆とふ年賀状のそれぞれに思ひめぐらす書家なれば 猶

1月19日 K

対詠 ごきげんいかが？

K N O  
 河村 郁子  
 小野澤繁雄  
 布宮 慈子

夜いまだ真夏日の気温のままにして旧七夕のうす雲晴れず 8月29日 K

残党とはいわれないながらラジオ体操終りしあとも子らは遊んで 8月31日 O

赤とんぼ里に下りくる九月なりスイカの残り香あるごとき日々 9月4日 N

せはしげに庭ぬちに舞ふ黄の蝶よ心残りは吾にしおなじ 9月6日 K

先々へ追われんがにもハグロトンボ足すすめても足先にいる 9月15日 O

じりじりと台風18号北上す三連休をもともせず 9月18日 N

大型の台風かすめて過ぎし朝氣づかい合うは夜半の強風 9月20日 K

時間帯すぎても秋の風のなかみちの半ばは通学路にて 9月26日 O

西風が吹いてコスモス揺るる日はものみな透きて秋が来てゐる 9月30日 N

秋日なか菩提樹の実のあまた垂れ落つるともなく幽けくゆれる 10月1日 K

晴々と弓もつ者ら遠征か駅のホームに歩みならべて 10月2日 O

山形の国際ドキュメンタリー映画祭はじまり街に外国人増ゆ 10月7日 N

練馬区の「みどりめぐりの会」に入り万葉歌もて牧野庭園へ 10月8日 K

くさはらの一、二区画が野菜畑みどりのいろが少し違つて 10月12日 O

映画祭終れば木々の葉はすでに色づいてゐる山形の街 10月16日 N

桜木の葉に黄の色の交ざる様わが髪に触るる思ひこそすれ 10月20日 K

黄葉にあいたるみちは竿をもてたたいている人下に銀杏 10月22日 O

紅葉する瀧山もみぢははや夕暮れて三日月浮かぶ色なき月が 10月26日 N

柿の木の青葉のあはひに潜みゐる橙たうの実今年はたわわに生らず 10月28日 K

青桐の樹下にあそびしわれなれど甲冑色をみてすぎるのみ 10月31日 O

「神様の食べ物」といふ学名を知りたる夕べ柿の実甘し 11月5日 N

住む人の絶へて久しき庭内にはぬちに熟れたる柿の一つが落ちぬ 11月8日 K

あら草の手のつけられぬその中を低く囲いてダリア園あり 11月11日 O

対詠 ごきげんいかが？

K N O  
河村 郁子  
布宮 慈子  
小野澤 繁雄

冬の間は枯れたようなに辛抱がいると庭の人鉄線の花

5月11日

O

鉄線が花芽つけしといふ母のよろこびの声つつましきかな

5月21日

N

亡き父の賞では鉄線こむらさきいつしら庭に見あたらずなり

5月23日

K

草刈るといふほどの荒草ののび母とこし墓そのままに母

5月25日

O

草刈りてマルチにすれば肥やしとて畑の草を無駄なく使ふ

5月31日

N

外構のリフォームに生れし一隅を坪庭と成し隣人招く

6月2日

K

落ちている花片ひとつもないことに土木事務所は泰山木の花

6月6日

O

いつぽんの泰山木あり白花を山の道より見上ぐはつなつ

6月12日

N

泰山木さがしあぐねて三千歩心に還す花

六義園

6月17日

K

バスが停まって乗る人がいる流川そこにも何かよろこびがある

6月23日

O

水無月が終はらむとす水田に囲まれてゐる百目鬼温泉

6月29日

N

庭石の上のくぼみに雫落つ青き葉よりの矮小惑星

7月5日

K

聞いてまでしりたき花名にアガパンサス庭にみるとも多く終盤

7月8日

O

てのひらを蜂に刺されつ実りたるブルーベリーを摘み取らむとして

7月12日

N

真夏日の墓参すませて涼をとる菩提樹の葉かげに青き実あまた

7月14日

K

少年はのびのびとしてかたわらは母か触れつつ待合室に

7月22日

O

合歡の花ほわほ咲きて山越えの道明るめり夏の雲湧く

7月27日

N

百日紅のたわわに白き花の咲く枝先叩くゲリラの豪雨

8月2日

K

いつの間に百日紅も盛りなれしとどに落ちて踏まれる花片

8月9日

O

若者が真夏の成人式終へてドレス、スーツで通りへ繰り出す

8月14日

N

盛夏らしくない日の続くアンニユイに記録的短時間大雨予報

8月19日

K

みるときはひとつならずにみる花にリコリスの花盛夏この今日

8月21日

O

暑き日を眠らせるごと三日月と木星ちかづき西に輝く

8月25日

N

対詠 ごきげんいかが？

K N O  
 河村 郁子  
 布宮 慈子  
 小野澤繁雄

山形の家庭菜園きさらぎの雪に覆はれ春を待つなり

2月12日 N

春一番さなかの午餐は横浜港船上なれど航行中止

2月18日 K

砂山のようなる頂き宝登山は風に洗われ岩が出ている

2月19日 O

南より黄の花のメール来てをればじわじわと屋根の雪とかす雨

2月23日 N

沈丁花の花芽ふくらみ調ふもわれの心の備へ未だし

3月8日 K

かけつばなしにしておくCD「ドン・ジョヴァンニ」に騎士長はすぐ殺されてしまう

3月9日 O

震災から六年を過ぐアレクシエービッチ『チェルノブイリの祈り』読みたり

3月13日 N

白木蓮の咲き初むるころ思ひ出づ六年前の新宿流民

3月14日 K

列なつてどこまでのみち制服は競輪学校の生徒ら近く

3月20日 O

忖度といふ字を知りぬ国会の籠池さんの証人喚問

3月23日 N

OEDに「ポスト真実」載るといふ情報の真偽がカオスの時代

3月25日 K

裏通りはさらにもさびしさながらに民家こんにやく工場がある

3月30日 O

どの地にも玉こんにやくがあるものと思ひ育ちぬ祭りの玉こん

4月5日 N

江戸前の穴子の天ぷら塩ふりてパリッと食ぶ 土地の慣はし

4月8日 K

酢漬けもあるとわが生まれ県渋川に苺品種の「弥生姫」みる

4月11日 O

菜の花が置賜の地に揺れをれば吉里吉里忌なり逝きて七年

4月16日 N

三分一湧水館にそばを食む流水分かつ三角石柱

4月18日 K

堤が桜堤に、公園になりし由来も人の関わり

4月19日 O

武蔵野市桜堤に保育園、小中学校を過ごしたる子ぞ

4月23日 N

よみがへる原風景のさくら桜ちちはは姉と歩みし上野

4月27日 K

平日の牡丹園内藤の下車いすの人多くがやすむ

4月30日 O

二十度を超す陽気なり桜桃のすなはち白き花は満開

5月5日 N

ひとところを占めて群れ咲く蝦根草父の植ゑしは五十年前なる

5月10日 K

対詠 ごきげんいかが？

K N O  
河村 郁子 小野澤繁雄  
布宮 慈子

汐留の街路樹に残るわづかなるいちやう黄葉光を受ける 12月9日 K

港区に北限とする榧かやありてためらわず実を捨う人あり 12月10日 O

切られゆく上野の森の大き木はヲウヲウといふ声あげるらむ 12月15日 N

黄葉を落とし終えたる大銀杏すべての枝が青き空指す 12月18日 K

どんな水も拒まぬ海を「同事」という清見寺門にことしさとしは 12月19日 O

海猫の餌付けやめたる加茂水族館 みなみの空に積乱雲わく 12月22日 N

訪れしつがる富士見湖に白鳥の飛来を告げる歌友ともを嬉しむ 12月25日 K

畑すみの枯れ枯れとする枝先に下つて塊は綿かな白し 12月27日 O

畑には雪うつすらと南天の赤きが映ゆる歳末となる 12月30日 N

2017年

はつはるを迎へる庭の華やぎは千両万両おも万年青の朱の実 1月2日 K

みちすがら鷲大神社なるに寄り詣でる人らみるついたちの朝 1月5日 O

汚れとも澱おりともつかぬこれの世を覆へる白に重力失ふ 1月9日 N

大統領就任前の礼節を欠きたる言動 信頼できぬ 1月12日 K

夜に出てみしお星さんおの付かぬ星さんという人二人しる 1月15日 O

トランプの演説いかにさるるが話題となりて美容院出づ 1月20日 N

大統領就任演説に虚しかり メイクアメリカグレートアゲイン Make America Great Again 1月21日 K

（アメリカで）の殺戮」というトランプに極端な言葉がある極端 1月23日 O

壊し屋か革命家なのか喧かまひし渦の中心はドナルド・トランプ 2月2日 N

独占欲強きがゆゑの富裕層 国を独裁することならじ 2月4日 K

みちぞいの家庭菜園に一区画五番本格鶏も飼っている 2月8日 O